



地域と大学がつながるサテライトってどんなところ？

第4回 岸和田サテライトと友の会との取り組み その1

西田 喜一

友の会が「防災」を学ぶ機会を求めるとつれ、その学んだ成果を地域に還元することはできないかをコーディネーターとともに考え始めます。学んだ成果を発表する場を求め、友の会の会員から岸和田で数十年続いている「岸和田市民フェスティバル」を紹介してもらいました。事前の視察や申し込みの方法など、情報収集をコーディネーターが主となり、参加の準備を友の会とともに進めます。

2014年から毎年5月3日に防災をテーマに出展し続け、友の会の学習成果発表、和歌山大学のPRの機会としてきました。出展する内容は、友の会と時間をかけて相談し、自分たちがやりたいと思うことは何かを明らかにしながら進めます。これまでに、簡易トイレの作製、ゴミ袋を使った簡易雨がつばの作製、ツナ缶ランプの実演など、災害時の知恵として知ってほしいことを講座形式で実施しました。

また、岸和田市とのコラボも少しずつ進めてきました。2015年からは、建設指導課が推進（現：住宅政策課）している木造家屋の耐震化をPRするために、建設指導課の協力を得て、2階建ての模型を使った木造耐震補強実験を実施しました（写真）。



写真：耐震補強実験の様子

2017年には、市立図書館と連携し、子ども向けの絵本読み聞かせ、災害に関する昔話や関連書籍の展示・紹介を実施しました。

このように、年を追うごとに出版内容を充実させ、連携する相手も増やしてきました。友の会からも自ら企画を提案し、連携を呼びかけ、交渉するなど少しずつ活動の幅が広がり、内容がより良いものになってきています。このような活動を通じて、友の会は地域での活動の場を増やしてきています。

<にしだ・よしかず / 和歌山大学 岸和田サテライト
地域連携コーディネーター>

第99回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

否定しないコミュニケーション ～子ども家庭支援の実践から～

話題提供者 ^{いび}衣斐 ^{てつおみ}哲臣（教育学部 教職大学院 教授）

日時

2018年1月17日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

私自身は、児童福祉や心理臨床の現場で、おもに子どもや家庭に関する問題行動に対し支援する仕事に携わってきました。そんな立場から、支援的なコミュニケーションについてお話できたらと思います。

わだい浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライト 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX：072-433-0875

岸和田サテライト 検索